

当初・変更

工事執行機関 41510 県北流域下水道建設事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	令和2年4月23日
工事番号	20-41510-0002	工事名	流域下水道工事（仮設放流設備工）	着工	令和2年4月23日
入札執行年月日	令和2年4月22日	発注種別	01 一般土木工事	完成	令和2年6月5日
審議番号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	県北浄化センター			予定価格	
工事箇所	伊達郡国見町大字徳江地内				18,726,400
至					
工事概要	仮設放流設備 N=1式				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
佐藤工業株式会社	(1)	16,600,000	(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)
	(1)		(2)
	(3)		(4)

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

様式3（裏面）

随意契約とする理由及び見積りの相手方を選定した理由

1 工事概要	
(1) 工事名	流域下水道工事（仮設放流設備工）
(2) 施行箇所	県北浄化センター 伊達郡国見町大字徳江地内
(3) 概要	仮設放流設備 N=1式
2 随意契約（単独随契）の理由	
<p>4/18～4/19の豪雨により阿武隈川の水位が上昇し、県北浄化センター内への河川水の逆流を防ぐため放流ゲートを閉じたが、放流ポンプ棟が未復旧のため、処理水及び雨水の放流ができず、さらに幹線からの流入水により施設の一部が浸水した。放流ポンプの仮設工事が完成（R2.5末）するまでは、阿武隈川へ排水する手段がないため、豪雨による浸水により仮復旧した各種施設が再度被災し、処理場本復旧の大きな遅れにつながる恐れがあることから、同様の被害を防ぐ目的で早急に仮設ポンプを設置して緊急時に対応できる措置を行いたい。これは、「公共工事に係る随意契約ガイドライン」2随意契約ガイドライン（2）随意契約の要件（ア災害等緊急を要するもの）に該当する。また、「公共工事に係る随意契約ガイドライン」2随意契約ガイドライン（3）単独随意契約（災害等緊急を要するもので複数の相手方から見積りを徴する暇がないもの）に該当するものである。</p>	
3 単独見積の相手方	
<p>当事務所では、平成26年10月2日付けにより福島県建設業協会県北支部と「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」を締結しており、同協会支部の会員である。また、当事務所における下水道関係工事の受注実績が多く経験豊富であり、今回工事の確実な履行が可能である。</p>	

変更契約の内容

変更契約年月日	
変更後の完成年月日	
変更後の契約金額	
<p>変更契約をする理由</p> <p><input type="checkbox"/> 1 現場精査による数量増（減）</p> <p><input type="checkbox"/> 2 （舗装）工事追加による増減</p> <p><input type="checkbox"/> 3 その他（ ）</p>	